

鹿児島市工業用水道事業紹介

○事業の主旨

工業用水道事業は、旧喜入町の一倉工業団地の開発に伴う企業誘致の施策として、低廉豊富な工業用水を提供することを目的に設置され、平成元年に給水を開始した。平成16年11月の1市5町の合併に伴い、旧喜入町から鹿児島市水道局に引き継がれ、鹿児島市工業用水道事業となった。

○事業の経緯

旧喜入町においては、若者が定着し、活力ある町づくりの一策として、町有林の一部に一倉工業団地の造成を行い、企業誘致の施策として昭和60年度にボーリング調査を行った結果、水源を確保した。

昭和61年度には、一倉工業団地への企業立地協定を結び、さらなる企業誘致を計画していたが、旧喜入町の簡易水道事業は生活用水の水需要が増加したことから、工業団地への安定給水の確保という点では問題があった。そこで、誘致企業の工業用水確保とその後の企業誘致の条件整備の面からも、工業用水道事業の必要性は高まった。昭和62年度には工業用水道施設の建設に着手し、翌年工事が完了し、平成元年4月1日給水を開始した。

開始当初の供給事業所は4事業所であり、一部企業の入れ替わりはあったものの、現在でも4事業所に工業用水を供給している。また、これまで工業用水道の水源地は1箇所まで運用していたため、平成15年度に新たな水源地開発に着手し、翌16年度完成した。

○ユーザーの概要

(平成20年4月現在)

業種	件数	基本使用水量 (m ³ /日)
	4	1,030

○工業用水道施設の概要

鹿児島市工業用水道事業は、一倉工業団地に隣接する一倉工水水源地の深井戸により、地下水を取水し、管径150mmの送水管で約650m離れた配水池 (V=300m³) に送水している。

配水管は、管径200~75mm、約1400mで、一倉工業団地へ供給を行っている。

○事業の特徴

現在、一倉工業団地の立地企業等4社に給水しているところであり、規模としては非常に小さいものである。

しかし、水源の枯渇及び水質事故等に対応するため、一倉工業団地に隣接する小田代第二水源地の取水量の一部を予備水源として確保し、工業用水の安定供給を図っている。

○鹿児島市水道局のホームページアドレス

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/suidou.nsf>

